

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス びおら		
○保護者評価実施期間	令和8年2月10日		～ 令和8年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	72	(回答者数) 57
○従業者評価実施期間	令和8年1月7日		～ 令和8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの特性や発達に応じた個別支援の質の高さ	アセスメントに基づく個別支援計画の作成と、日々の記録・振り返りを通じて支援を見直しながら、子ども理解を基盤とした継続的な関わりを行っている。	支援内容や成果の見える化を図るとともに、個別支援計画と日々の支援の連動を強化し、支援の意図や根拠を分かりやすく発信していく。
2	職員間の連携が図られた安定した支援体制	支援前後の打合せや振り返り、日常的な情報共有、会議を通じた課題共有と改善により、対応の統一とチーム支援の質向上を図っている。	役割分担の明確化や支援基準の整理・標準化を進めるとともに、人材育成を体系化し、支援力の向上を図っていく。
3	保護者との信頼関係が構築されており満足度が高い	送迎時や連絡帳での丁寧な情報共有、支援計画の説明と同意の徹底、保護者の思いに寄り添った対応を行っている。	通信やSNS等による情報発信の強化や、支援内容の分かりやすい説明の充実を図るとともに、家庭と連動した支援を推進していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容や取組の「見える化」や発信の不足	実施している取組が十分に伝わっていないことや、情報発信の方法や機会にばらつきがあることが課題の要因である。	通信・SNS等による定期的な情報発信の強化や、支援内容・安全対策の説明機会の充実、分かりやすく伝える工夫を進めていく。
2	活動内容の幅や地域交流の機会の不足	平日の時間的制約により活動が固定化しやすいことや、地域との連携機会が不足していることが課題の要因である。	活動プログラムの整理と充実を図るとともに、長期休暇や外出活動の拡充、地域資源や他機関との連携強化を進めていく。
3	環境面および体制面の制約(スペース・人員)	建物構造上のスペース制約や個別対応スペースの不足、人員配置に余裕が少ないことが課題の要因である。	空間のゾーニングや活用方法の工夫、外部スペースや他拠点の活用を図るとともに、支援体制の見直しと効率化を進めていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス びおら

公表日 令和8年3月15日

利用児童数 72

回収数 57

		2026/2/10	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	50	7	0	0	建物の構造上やむを得ないが、中高生は活動量も多いので手狭に感じる。中が見れない構造なので分からない。	現在も活用しているが、同建物内の福祉センター江戸川橋やリアン文京を活用する。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	55	2	0	0	具体的なことは確認できていない。本人の為に、人との適切な物理的距離の取り方等を教えて欲しい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	54	3	0	0	中が見えないので、分かりません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	55	2	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	57	0	0	9		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	57	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	57	0	0	0	単発の利用ですが、子どもに寄り添った計画をいただいている。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	55	0	0	2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	57	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	50	7	0	0	公文利用は継続していただきたい。子どもは特性からある程度の固定化が落ち着くようだ。	
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	43	6	2	他事業所との交流イベントは楽しいようだ。就労などの見学や地域交流は積極的にしている。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	57	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	57	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	42	5	4	13		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	56	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	57	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	57	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	5	37	7	8	特に必要としていない。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	50	6	0	1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	57	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	48	7	1	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	57	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	40	9	5	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	41	9	4	3	定期的に避難訓練をやっているのを知りたい。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	49	1	1	6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	53	0	0	4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	56	1	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	56	1	0	0	楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	57	0	0	0	文京区では、武蔵野会以外に頼れる場所はない。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
放課後等デイサービス びおら		令和8年3月15日					
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	2026/2/10	10	1			人数が多い日は座席の配置など改善が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	2			基準は満たしているが、あと一人か二人職員がいれば、外出活動等サービスの充実が図れると思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11		建物は全館バリアフリーになっている。(ユニバーサル使用になっている)		パーティーションのメンテナンス実施が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1			壁紙の張り替えが必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	2	パーティーションを利用し、空間を区切れるようにしている。		完全個室ではないため、感情が乱れたときに気持ちを落ち着かせられる環境が少ない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11		全職員参加の会議がある。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	月1の会議にて業務分担の進捗確認を行い、現状や課題について意見を出し合っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		なるべく多くの職員が研修に参加出来るように調整している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1	平日は時間の関係上固定化しているが、長期休みは、毎日活動内容を変え、楽しめる工夫をしている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	3		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11			